

株主の皆さまへ



2015 春夏号

2015年3月期のご報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)

- ・連結決算の状況 **P.01**
- ・株主還元の状況 **P.04**
- ・課題への取り組み状況 **P.05**

トピックス **P.08**

東京ガスで味わう おいしい食卓 **P.09**

会社情報 **P.10**



チャレンジ 2020ビジョン

の実現に向けて
大胆かつ
スピーディーに
取り組んでいきます。

代表取締役社長

広瀬 道明



連結決算の状況

ガス販売量は、業務用需要が減少した一方、発電向け需要の増加によって工業用需要が増加したことなどにより、前期比5.5%増の155億4千1百万m³となりました。

ガス販売量の増加や、原料費調整による売上単価増、並びに電力事業・LNG販売の拡大もあり、売上高は前期比1,804億円増の2兆2,925億円となり、5期連続の増収、営業利益も3期連続の増益となりました。

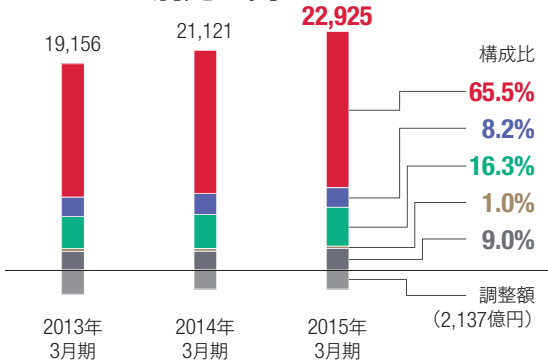
一方、海外事業における減損損失を特別損失に計上したことから、当期純利益は前期比126億円減の958億円となり、3期振りの減益となりました。

2016年3月期については、ガス販売量の増加を見込んでいるものの、原料費調整による販売単価の減等により、営業利益は前期比317億円減の1,400億円を見込んでいます。また、2015年3月期に計上した特別損失の影響がなくなることから当期純利益は前期比52億円増の1,010億円となる見通しです。

(単位:億円)

(連結)	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 見通し
売上高	19,156	21,121	22,925	18,890
営業利益	1,456	1,660	1,717	1,400
当期純利益	1,016	1,084	958	1,010

セグメント別売上高 (億円)

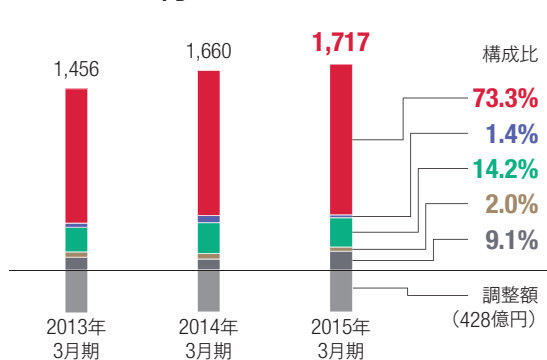


■ **都市ガス**：売上高は、販売量の増や原料費調整による販売単価増により前期比9.0%増の1兆6,409億円でしたが、営業利益は、円安影響などによる原料費の増加により同2.9%増の1,571億円でした。

■ **器具及びガス工事**：売上高は、器具販売台数減から前期比7.6%減の2,049億円、営業利益は、同60.3%減の30億円でした。

■ **その他エネルギー**^{*1}：売上高は、電力事業の

セグメント利益 (億円)



売上高が増加し前期比14.2%増の4,082億円、電力燃料費増により営業利益は同6.2%減の305億円でした。

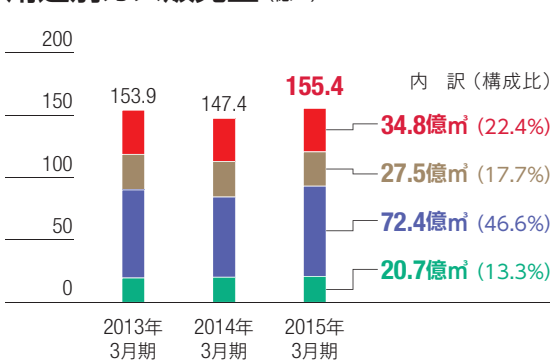
■ **不動産**：売上高は、前期比8.4%減の259億円、営業利益は、同23.1%減の43億円でした。

■ **その他**^{*2}：売上高は、前期比13.5%増の2,262億円、営業利益は、海外事業の利益増などにより同67.0%増の195億円でした。

*1 電力、LNG販売、エネルギーサービス等

*2 海外、建設、船舶等

用途別ガス販売量 (億m³)



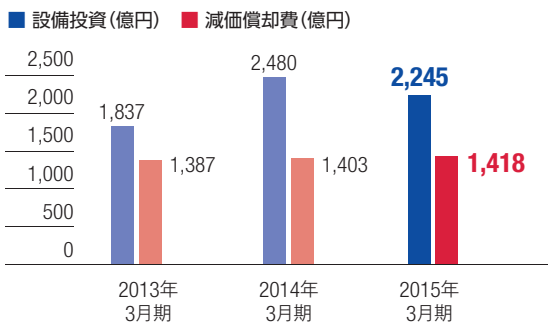
■ **家庭用**：お客さま件数が増加し、気温も前年を下回ったことから、前期比0.9%増加しました。

■ **業務用**：低気温の影響から夏場の空調需要が減少し、前期比3.3%減少しました。

■ **工業用**：発電専用が好調で、前期比12.5%増と大きく増加しました。

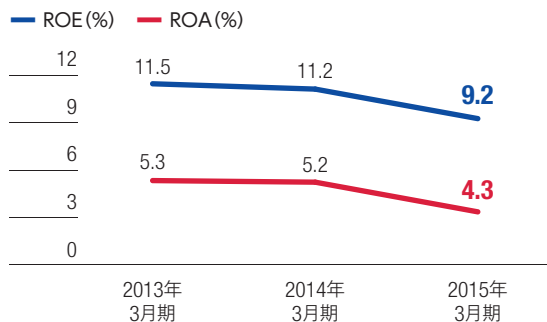
■ **他事業者向け供給**：卸先事業者の需要が増大し、前期比3.3%増加しました。

設備投資／減価償却費



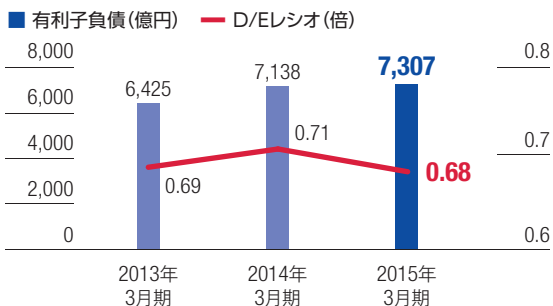
茨城～栃木幹線整備や日立LNG基地建設等の投資により、当期の設備投資額は、2,245億円となりました。減価償却費は前期に扇島工場のタンクを取得したことなどにより前期比1.0%増の1,418億円となりました。

ROE／ROA



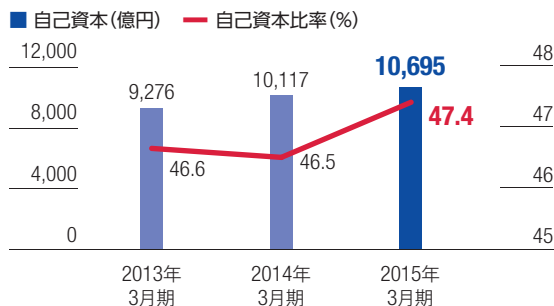
当期純利益が前期比11.6%減の958億円となったため、ROEは同2.0ポイント減の9.2%、ROAは同0.9ポイント減の4.3%となりました。

有利子負債／D/Eレシオ



有利子負債は前期末比2.4%増加したものの、自己資本が前期末比5.7%と大きく増加した結果、D/Eレシオは0.03ポイント低下しました。

自己資本／自己資本比率



当期純利益が配当金の支払を上回ったこと等により、自己資本は前期末比5.7%増加しました。その結果、自己資本比率は0.9ポイント上昇しました。

株主還元の様況

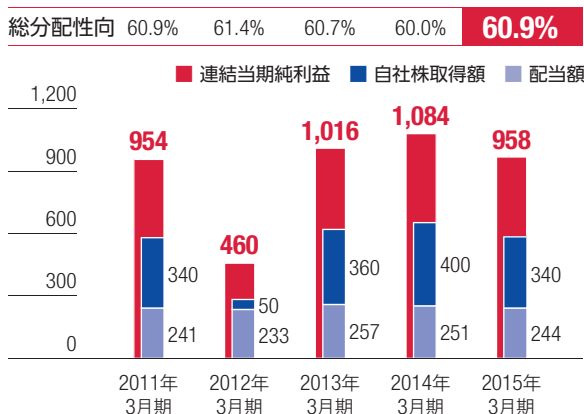
当社は2007年3月期より、株主還元方針として「**総分配性向6割程度**」を掲げ、実行しています。

株主 還元方針

→ 具体的な内容

- (1) 連結当期純利益の6割程度を株主還元に対応する
- (2) 株主還元は配当と、消却を前提とした翌期の自社株買いで構成する
- (3) 配当については、安定配当を維持しつつ、成長に合わせて緩やかな増配を実現していく
今後も、この方針については堅持していく予定です。

総分配額の推移 (億円)



2015年3月期の株主還元

配当 前期に引き続き、1株当たり10円の配当を継続します。

自社株買い 2015年3月期の株主還元として2016年3月期における340億円の自社株取得を決議しています。

2015年3月期配当額
244億円

2016年3月期自社株取得額
340億円

2015年3月期連結当期純利益
958億円

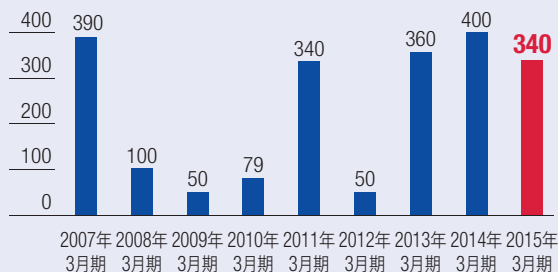
東京ガスが実施する「自社株買い」とは？

自社株を取得することで、市場に流通している株数を減少させます。これにより、1株当たり利益(EPS)など、1株当たりの株主価値を向上させる効果があります。

なお、東京ガスは自社株買いの後、取得した自社株を消却しています。これは、金庫株が将来再度市場に流出する可能性を否定することで、自社株買いを株主還元策の一環と明確に示すためです。当社は2007年3月期から2014年3月期までの8年間で計3億6千3百万株、実施前に対し13%の自社株を消却しました。なお、2015年3月期については、消却を前提とした340億円の自社株買いを決議しています。

自社株取得額の推移 (億円)

2007年3月期～2015年3月期



原料調達のためのさらなる多様化

2014年7月に、米国キャメロンLNGプロジェクトからLNGを年間約52万t、2020年より約20年間購入する契約を、三井物産(株)と締結しました。9月には、韓国ガス公社と「戦略的相互協力に関する協定」を締結し、LNGの相互融通・共同調達、上流事業への共同投資などについての協議を開始しました。さらに、10月には、2017年の稼働に向け、米国コーブポイントLNG液化基地の建設が始まるなど、原料調達のさらなる多様化への取り組みを前進させました。

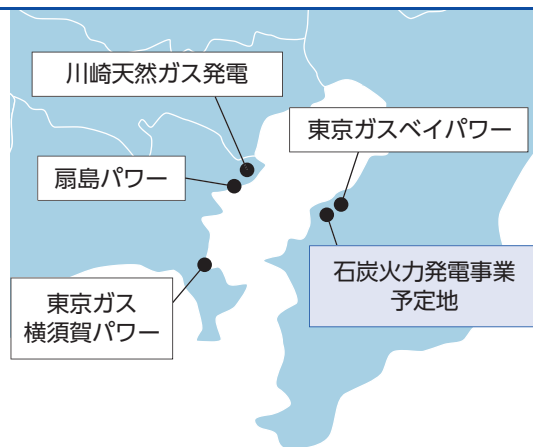


コーブポイントLNGプロジェクト

ガス・電力インフラの拡充

2014年9月には、福島県いわき市の工業用需要への供給に向けて、小名浜サテライト基地の建設を開始しました。2015年3月には、現在建設中の日立基地の能力を拡張すべく、2020年度の使用開始を目指して2号LNGタンクの建設を決定しました。

電力については、2014年9月に(株)神戸製鋼所と神鋼真岡発電所(発電能力120万kW級)における電力供給に関する契約を締結しました。2019年以降、当社のLNGを活



●当社グループの火力発電所

用して発電し、発電された電力は15年間にわたり当社が供給を受けます。さらに、2015年3月には、出光興産(株)、九州電力(株)との間で、大規模石炭火力発電所の共同開発について合意しました。千葉県袖ヶ浦市に最

大200万kW規模の発電所を建設し、2020年代中盤の運転開始することを目指しています。今後も競争力ある電源ポートフォリオの構築を目指します。

❖ エネルギーソリューション

2014年7月、豊洲埠頭地区におけるスマートエネルギーセンターの建設を開始するとともに、11月には田町駅東口北地区I街区において、スマートエネルギーネットワークを構築し、熱と電気の供給を開始しました。情報通信技術や再生可能エネルギー、停電対応タイプのコージェネレーションシステム等の活用により、CO₂排出量の削減や防災に強いまちづくりに貢献するものです。

また12月には、将来の水素利用拡大に向けた取り組みの一環として、関東で初の商用水素ステーションとなる「練馬水素ステーション(東京都練馬区)」を開所しました。



田町駅東口北地区I街区 第1スマートエネルギーセンター外観



燃料電池自動車への充填セレモニー



海外事業の展開

2014年11月に、マレーシアにおけるエネルギーサービス事業の第一号案件の建設を開始しました。当社グループが、お客さま（東レ（株）の出資子会社）の敷地内にコージェネレーションを設置し、電力と蒸気を供給します。システムの設計、施工、燃料調達から設備のメンテナンスまでを一括して当社グループが引き受け、エネルギーサービス料金を受け取るものです。

12月には、アジア地域の事業統括会社として、東京ガスアジア社をシンガポールに設立しました。インドネシア、ベトナム、タイなどにおける事業を推進していきます。

12月にはペトロベトナムガス社と、ベトナムにおけるエネルギーソリューション事業の事業化調査に関する覚書を締結し、2015年2月にはインドネシアのプルタミナ社との戦略的協力関係に関する協定を締結しました。



左からペトロベトナムガス 林会長、東京ガス代表取締役社長 広瀬 道明



左からプルタミナ社 Yenni Andayani 取締役、東京ガス代表取締役社長 広瀬 道明

新たなグループフォーメーションの構築

関係会社に分散する必要な人材・技術・ノウハウといった経営資源を集約することで、規模・範囲を拡大し、グループ収益の柱となる事業として育成していくために、以下の取り組みを実施しました。

■関係会社の統合

- ① 東京ガス・エンジニアリング（株）と（株）エネルギーアドバンスを2015年4月1日に統合し、「東京ガスエンジニアリングソリューションズ（株）」が発足しました。
- ② トーセツ（株）と東京器工（株）を2015年4月1日に統合し、「リビングエンジニアリング（株）」が発足しました。
- ③ （株）アーバン・コミュニケーションズと（株）リビング・デザインセンターを2015年4月1日に統合し、「東京ガスコミュニケーションズ（株）」が発足しました。
- ④ 千葉ガス（株）、筑波学園ガス（株）、美浦ガス（株）を2016年5月1日に東京ガス（株）へ統合することを決定しました。
- ⑤ 東京ガス都市開発（株）は、2015年4月1日に東京ガスファシリティサービス（株）を子会社としました。



東京証券取引所主催の「企業価値向上表彰」で優秀賞を受賞

東京ガスは、東京証券取引所(以下、「東証」)が実施した2014年度の「企業価値向上表彰」において、優秀賞を受賞しました。

「企業価値向上表彰」は、東証全上場企業(約3,400社)を対象に、資本コストをはじめ投資家の視点を深く組み込んで企業価値の向上を目指すなど、東証市場の魅力向上に資すると認められる経営を実践している企業を表彰するものです。当社を含む受賞企業4社は、資本コストを上回る企業価値の創造を行うことを目指した、「企業価値向上経営」を高いレベルで実施していると認められました。東証は2012年から本選定を実施しており、当社の受賞は初めてです。



東証における表彰式(3月3日)

「学校出張授業」参加児童が100万人に到達

東京ガスが学校教育支援活動の一環として実施している「学校出張授業」に参加した児童が、2014年11月18日に、100万人に達しました。

「学校出張授業」は、小学校・中学校を対象とし、未来を担う子どもたちにエネルギーと環境の大切さを伝えることを目的に、2002年に開始した学校教育支援活動です。「エネルギー」「環境」「食育」などをテーマに5種類のプログラムを用意し、主に社会科、理科、家庭科、総合的学習の時間などで活用されています。社員自らが学校を訪問して講師として授業を行うもので、先生方、子どもたちから高い評価を頂いている活動です。



授業の様子



代表の児童に花束と記念品を贈呈

東京ガスで味わう



おいしい食卓

包み香りご飯

ほんのり酸味のきいた洋風のご飯に、香りの良い和の食材を混ぜ込んだ新感覚の混ぜご飯です。サラダ菜で包んでいただきます。



【材料】(4人分) ingredients

カロリー 1人分あたり262kcal

米	1と1/2合
水	320ml

【A】

・サラダ油	小さじ1
・チキンブイヨン(固形)	1コ
・砂糖	小さじ1/2
米酢	大さじ1
シイタケ	4枚
チリメンジャコ	20g
青ジソ(千切り)	5枚
炒りゴマ(白)	大さじ1
梅干し	大1コ
サラダ菜	8枚

レシピ：東京ガス「食」情報センター

作り方

1. 米を洗ってザルにあげ、炊飯鍋に入れます。分量の水を加えて30分以上おき、Aを混ぜて炊きます。約10分かけて沸騰させ、沸騰したら弱火にして15~20分炊きます。火を消してそのまま10~15分蒸らします。
2. シイタケは石づきを取ります。チリメンジャコはアルミホイルに包み、シイタケと共にグリルで焼きます。「両面焼き水なしグリル上・下強火5分」の設定で焼き上がったら、シイタケは薄切りにします。
3. 1が炊き上がったなら米酢、2、青ジソ、炒りゴマを混ぜます。器に盛り付けて梅干しをちぎって散らし、サラダ菜を添えます。



アドバイス

- 1 チリメンジャコは焦げやすいのでグリルの縦中央に置き、両脇にシイタケをのせます。
- 2 初めは香りご飯だけの味を楽しみ、次にサラダ菜に香りご飯を適量包んでいただくと、2つの味が楽しめます。

炎の料理教室 そして未来へ

東京ガストロノミー

詳細は HP へ

<http://www.tg-cooking.jp/>

東京ガス 料理教室

検索



会社情報

■ 会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名	東京ガス株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885(明治18)年10月1日
従業員数	7,979人(連結16,835人) 注:従業員数は常勤の従業員数を記載しており、 出向者および臨時従業員を含みません。
格付け	AA+(R&I:格付投資情報センター) Aa3(ムーディーズ) AA-(スタンダード&プアーズ) AAA(JCR:日本格付研究所)
連結子会社	69社
持分法適用関連会社	6社

■ 取締役および監査役 (2015年6月26日現在)

取締役会長 岡本 毅	代表取締役 (副社長執行役員) 幡場 松彦 救仁郷 豊	社外取締役 中垣 喜彦 井手 明彦 鹿取 克章	常勤監査役 大谷 勉 尾花 秀章
代表取締役社長 (社長執行役員) 広瀬 道明	取締役 (常務執行役員) 三神 正博 小林 裕明 内田 高史 安岡 省	社外監査役 森田 嘉彦 大谷 幸二郎 東嶋 和子	

■ 執行役員 (2015年6月26日現在)

常務執行役員 村関 不三夫 荒井 英昭 山上 伸 高松 勝 中島 功 野畑 邦夫	執行役員 原 文比古 傳 清忠 齊藤 隆弘 高木 信以智 石井 敏康 沢田 聡	小林 信久 小宮山 忠 早川 光毅 穴水 孝 木本 憲太郎
--	---	---

■ 株式の状況 (2015年3月31日現在)

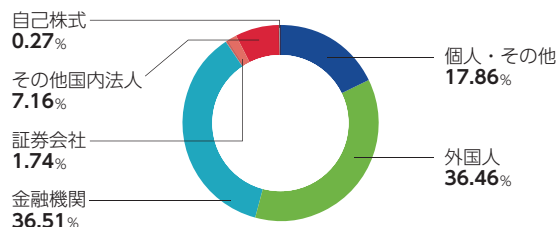
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,446,778,295株
株主数	117,487名

■ 大株主 (2015年3月31日現在)

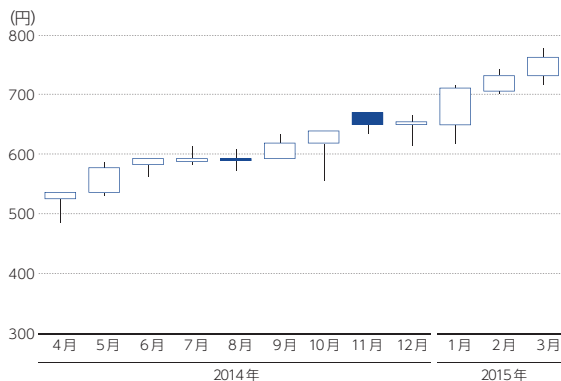
株主名	持株比率(%)	持株数(千株)
日本生命保険相互会社	6.41	156,480
第一生命保険株式会社	4.94	120,472
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4.15	101,206
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.80	92,759
東京瓦斯グループ従業員持株会	1.76	42,867
富国生命保険相互会社	1.68	41,103
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一生命保険口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1.45	35,490
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	1.43	34,888
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	1.26	30,845
JFEエンジニアリング株式会社	1.10	26,806

注:持株比率は自己株式(6,540,207株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況 (2015年3月31日現在)



■ 株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

証券コード 9531

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行われる際には、添付資料としてご利用いただけますので大切に保管してください。ただし、株式数比例配分方式で配当をお受け取りの株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等で行われるため、確定申告時の添付資料に関するお問い合わせは、お取引の証券会社にお問い合わせいたします。

株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の三井住友信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。

[TEL 0120-782-031 (受付時間：平日9:00-17:00)]

東京ガス株式会社

本誌に関するお問い合わせ

TEL 03-5400-3888

財務部IRグループ

株式その他のお問い合わせ

TEL 03-5400-3894

総務部総務グループ

今号の表紙イメージから



2006年に就航した、エネルギーブプロレス号

安定的かつ安価な原料調達のために東京ガスグループは、自社LNG船を主体的に保有・運航管理することで、調達先のさらなる多様化・拡大を進め、原料価格の低減を図ってまいります。

2017年度に開始予定の米国コーブポイントプロジェクトからのLNG輸送に向けて、2014年に(株)商船三井ならびに日本郵船(株)と4隻のLNG船の備船契約に関する基本協定を締結しました。これにより東京ガスグループが保有・運航管理するLNG船は14隻となります。

表紙の写真の配置は、右下が赤いT字の当社のロゴマークをイメージしています。



この冊子は、社内の使用済み文書、管理された植林材および再・未利用材を原料とした「東京ガス循環再生紙」と、有機溶剤の少ない植物油インキを使用して印刷しています。